

### ■恒見朽網線道路整備事業

SDGs ゴール番号 11

門司区には太刀浦コンテナターミナルや新門司港、小倉南区・京築地域には空港跡地産業団地、臨空産業団地、北九州空港など周防灘沿岸部に物流拠点が集積し、物流を含む交通量が増加しています。このような状況から、当該地域の幹線道路である県道門司行橋線や国道10号の慢性的な渋滞を解消し、産業拠点間の物流機能を強化することを目的として整備を進めています。

- ・箇所 門司区新門司三丁目～小倉南区大字朽網
- ・延長 L = 7.9 km (4車線)
- ・事業年度 平成22年度～令和13年度(予定)



担当：都市整備局道路建設課 TEL 582-2279

### ■新門司地区 RORO ターミナル整備事業

SDGs ゴール番号 9.11

トラックドライバーの長時間労働削減や環境負荷低減に寄与するフェリーやRORO船(貨物を積んだトラック等が自走して船に乗降できる貨物船)の輸送需要の増加に対応するため、新門司南地区に新たなROROターミナルを整備します。



担当：港湾空港局整備課 TEL 321-5975

## ■門司麦酒煉瓦館等活用事業

SDGs ゴール番号 8.11

令和8年5月、門司赤煉瓦ブレイスに新たな賑わいを創出するため、エリア内にある門司麦酒煉瓦館を官民連携によってリニューアルオープンしました。ビール工場の歴史などを伝えてきた展示室は、フォトスタジオ、市民ギャラリー、クリエイターや若者が集う文化交流の拠点に変わり、今後は「民間の稼ぐ力」で魅力ある空間を守りながら、持続的な維持管理を行っていきます。



▲門司麦酒煉瓦館外観



▲門司麦酒煉瓦館内観

担当：都市戦略局都市再生課 TEL 582-2502

## ■公共施設マネジメント推進事業（モデルプロジェクトの推進）

本市では、昭和40年代後半から50年代にかけて集中的に整備された公共施設が、今後、一斉に更新の時期を迎えようとしており、必要な財源の確保が難しくなっています。

また、近年の本市の財政状況は、高齢化の進展等に伴う福祉・医療費の増加により厳しさを増しており、施設整備に充てる投資的経費は、ピーク時から大幅に減少し、近年は横ばいで推移しています。

このため、真に必要な公共施設を安全かつ持続的に保有していく運営体制を確立し、市民の安全・安心の確保や、子どもや孫の世代が安心して暮らせる地域社会を築いていくための公共施設マネジメントは、これまで以上に重要となっています。

この公共施設マネジメントの推進における施設再配置（集約・複合化）の取組として、「モデルプロジェクト再配置計画（門司港地域・大里地域）」を進めています。

### 【門司港地域の再配置計画】

門司駅周辺に、公共施設を集約し、複合化・多機能化することで、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、公共施設を活かし、地域の活性化を図ります。

### 【大里地域の再配置計画】

旧門司競輪場の跡地に、公共施設を集約し、複合化・多機能化することで、市民サービスの効率化及び公共施設に係るコスト縮減を図るとともに、魅力的な公園や居住空間の創出を図ります。

担当：【モデルプロジェクト再配置計画に関すること】

財政・変革局アセットマネジメント推進室 TEL582-2076

【門司港地域の再配置計画（複合公共施設）に関すること】

都市戦略局都市再生課 TEL582-2469

【大里地域の再配置計画（スポーツ複合公共施設）に関すること】

都市ブランド創造局スポーツ振興課 TEL582-2395

## 門司港地域複合公共施設整備事業【概要版】

【門司港地域モデルプロジェクト再配置計画】

### 1 事業の目的・概要

老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化すること  
で、施設整備費、維持管理費、運営費を削減する。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図る  
とともに、市民利用施設や図書館の公共施設を活かし、地域の活性化に寄与する。

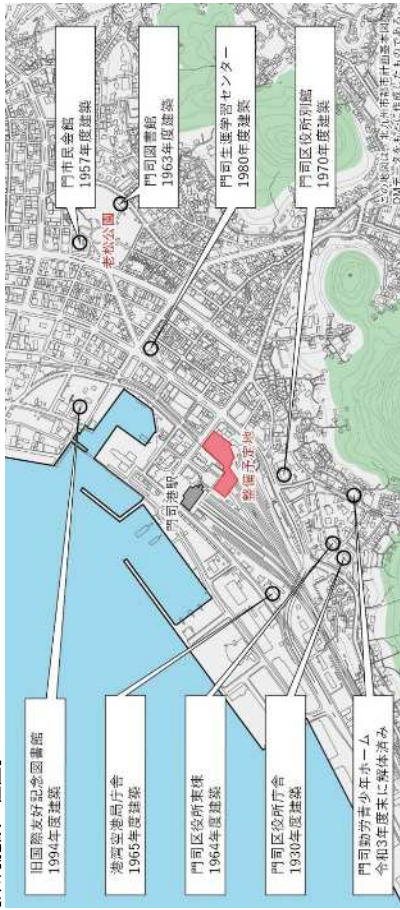
- ・ 交通利便性の高い門司港駅付近に公共施設を集約することで、区内各地からのアクセス利便性を高める。
- ・ ホールや会議室、図書館等の文化施設を一体的に整備することで、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに、周辺地域の活性化や賑わいの創出を図る。
- ・ 移転跡地を地域に応じた利用に転換することで、地域の魅力を高める。

### 【事業概要】

事業名：門司港地域複合公共施設整備事業  
事業箇所：北九州市門司区清滝二丁目ほか

### 2 モデルプロジェクト再配置計画（門司港地域）

【集約施設の位置】



### 【公共施設集約化の対象施設と延べ床面積の変化】

施設	現状施設		計画	概要
	延べ床面積	延べ床面積		
市民利用施設	門司市民会館	3,700㎡	8,500㎡	・多目的ホール ・歴史数見通 (800→500) ・会議室機能の見直し
	門司生涯学習センター	3,000㎡		
	門司勤労青少年ホーム	1,800㎡		
図書館	門司図書館	1,000㎡	1,800㎡	・2施設を1施設
	旧国際友好記念図書館	800㎡		
庁舎	門司区役所	7,100㎡	10,600㎡	・会議室等の併用利用
	港湾空港局庁舎	3,500㎡		
計	20,900㎡		14,150㎡	

その他施設：有料駐車場 (323台) 利用施設 (85㎡)

※旧国際友好記念図書館 (現大連友好記念館) は平成30年3月31日閉館

### 3 複合公共施設の概要と特徴

【複合公共施設の概要】



### 【複合公共施設の特徴】

- ・ 駐車場から安全かつ円滑に右左折で各方面へアクセス可能
- ・ 回遊性を2階以上に配置することで防災拠点としての機能向上
- ・ 回遊性や賑わいの連続性に配慮した『にぎわい広場』を計画
- ・ 市民が良く利用する低階層に憩える空間を計画
- ・ 1階から2階への快適な移動手段としてエスカレーターを設置

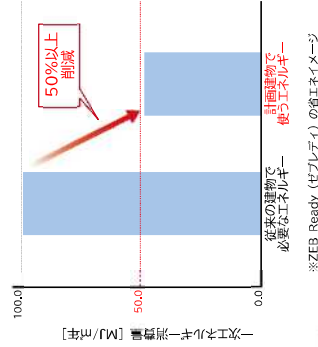
### 4 省エネルギー化への挑戦

【ZEB Ready (ゼブレディ) の実現】

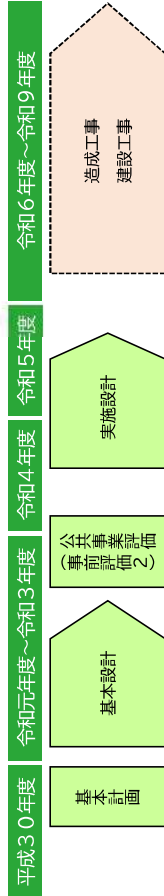
LowEペアガラスの採用、ルーバー・庇等の日射遮蔽機構の設置など、建物外皮性能の高断熱化を図るとともに、高効率な省エネルギー設備の採用により、基準となる建物に比べて一次エネルギー消費量を50%以上削減しています。

※Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支ゼロを目指した建物の総称。  
※ZEB Readyとは、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適した建築物。

※出典：環境省ホームページより



### 5 スケジュール



# 門司港地域複合公共施設の整備イメージ

※現時点でのイメージです。今後変更になる可能性があります。



① 全体俯瞰図



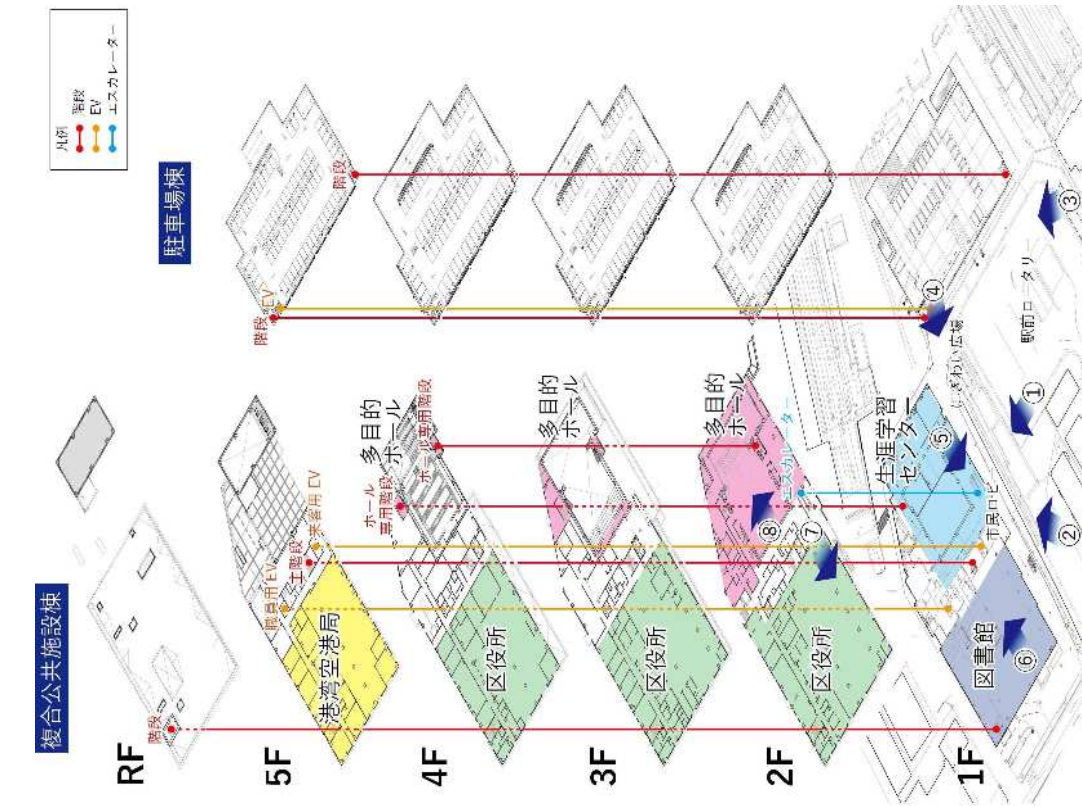
② 複合公共施設棟 (駅前ロータリー側)



③ 駐車場棟 (駅前ロータリー側)



④ にぎわい広場



⑤ 市民ロビー (1階)



⑥ 図書館 (1階)



⑦ 区役所窓口 (2階)



⑧ 多目的ホール (2階)

施設名称	計画面積	施設名称等	計画面積・台数
港湾空港庁舎	1,945 m <sup>2</sup>	駐車場	8,122 m <sup>2</sup>
区役所	7,000 m <sup>2</sup>	駐車台数	323 台
多目的ホール	2,350 m <sup>2</sup>	自転車駐輪台数	135 台
生涯学習センター	1,240 m <sup>2</sup>	バイク駐輪台数	37 台
図書館	1,700 m <sup>2</sup>		
計	14,235 m <sup>2</sup>		

施設名称等	計画面積・台数
駐車場	8,122 m <sup>2</sup>
駐車台数	323 台
自転車駐輪台数	135 台
バイク駐輪台数	37 台

# 大里地域モデルプロジェクト再配置計画

## 施設配置図



## 計画平面図

